

(別記)

若桜町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

若桜町は山間地にあり、日当たり、作土、圃場等の条件も悪く、野菜等の推進が困難となっている。その中で稲作を主体に野菜（白ねぎ、ブロッコリー、アスパラガス）、畜産、果樹等を組み合わせた複合経営による農業生産を行っている。現在、過疎化に伴う農家人口の減少と農業従事者の高齢化は著しく、耕作放棄地が拡大している。また、鳥獣被害の増加や後継者不足等により生産意欲の減退が危惧されている。地域特産物の育成と農地中間管理事業を活用しながら、担い手への農地集積及び集落営農組織の設立により小規模農家の作業負担軽減を図り、耕作放棄地の拡大に歯止めをかけなければならない。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

主食用米の需要減が見込まれるが、次の2点に取り組む。

- ・農作業受託組織等の育成と作業集約によるコスト削減。
- ・中山間の日較差の大きい気象状況を生かした高品質な米生産による若桜米のブランド化の推進。

(2) 非主食用米（備蓄米）

- ・従来から取り組んできた備蓄米を集落営農組織、小規模農家等へ推進し、J Aが設定する配分枠に合わせた確実な生産に取り組む。

(3) 大豆

- ・排水良好の地域に作付けを推進し、現状の作付面積を維持する。

(4) そば

- ・「そば」は、特産作物の生産拡大と加工品の開発を地域交流組織「吉川Y Y C」等と進め、健康食品として道の駅若桜「桜ん坊」等に販売していく。

(5) 野菜等

ア 白ねぎ

- ・J Aが展開する白ねぎ倍増プランにより、山間地域への導入や既存生産者の増反を進め、いなば地域の主要作物として産地の拡大を図る。

イ ブロッコリー、アスパラガス、ほうれんそう、夏だいこん

- ・従来から推進している地域特産作物であり、引き続き作付拡大を推進し、J A等と連携した販売体制の強化を図る。

ウ エゴマ

- ・域特産作物として推進し、エゴマ生産組合を中心に生産拡大と加工品の販売を進め、健康食品として道の駅若桜「桜ん坊」等に販売していく。

エ 小豆

- ・「小豆」は、高齢者等でも取り組みやすい転作作物に位置付け、J A等を通じて県内加工業者との取引を推進する。

オ その他作物（花き・花木、果樹、雑穀等を含む）

・少量多品目の作物が求められる道の駅若桜「桜ん坊」等への出荷量を確保するため、その他作物の作付拡大を図る。

(6) 地力増進作物・景観形成作物

・耕作放棄地が増加傾向にある中、不作付地の発生抑制、解消対策として、水田を維持するために作付推進を図る。

(7) 不作付地の解消

・現行の不作付地（約 15ha）について、エゴマおよび備蓄米を中心に作付けを推進し、農地中間管理事業を活用しながら担い手への集積・集落毎での集落営農組織の設立の推進を図り、受委託作業による不作付地の解消に努める。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	139.5	138.4	139.0
備蓄米	1.6	1.2	3.0
大豆	0.2	0.2	0.2
そば	2.0	2.1	2.3
その他地域振興作物	33.0	32.6	34.5
野菜	21.2	20.7	22.0
白ねぎ	0.9	1.1	1.3
ブロッコリー アスパラガス ほうれんそう 夏だいこん	1.6	1.6	1.7
その他野菜	18.7	18.0	19.0
花き・花木	1.0	1.1	1.1
果樹	1.2	1.3	1.3
雑穀	5.7	5.8	6.1
エゴマ	5.7	5.7	6.0
その他雑穀	0.0	0.1	0.1
その他作物	0.8	0.7	0.7
小豆	0.5	0.5	0.5
その他作物	0.3	0.2	0.2
地力増進作物	2.5	2.4	2.5
景観形成作物	0.6	0.6	0.8
合 計	176.3	174.5	179.0

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)
1	白ねぎ	作付面積の拡大	ア	作付面積	0.9ha	1.1ha
2	ブロッコリー アスパラガス ほうれんそう 夏だいこん	作付面積の拡大	ア	作付面積	1.6ha	1.6ha
3	小豆	作付面積の拡大	ア	作付面積	0.5ha	0.5ha
4	エゴマ	作付面積の拡大	ア	作付面積	5.7ha	5.7ha

※「分類」欄については、実施要綱別紙 15 の 2 (6) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成 30 年度以降の目標値を設定している場合は、「平成 29 年度 (目標値)」欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、() 内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

若桜町農業再生協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会名	配分枠 (A+B+C)				(内訳)				活用予定額 (a+b+c)		
	産地賦略枠 (A=F+H)	従来枠 (B=G+I)	追加配分枠 (C)	2回目の配分 (E=H+I)	1回目の配分 (D=F+G)		2回目の配分 (E=H+I)		産地賦略枠 (a)	従来枠 (b)	追加配分枠 (c)
					産地賦略枠 (F)	従来枠 (G)	産地賦略枠 (H)	従来枠 (I)			
若桜町農業再生協議会	1,109,000	419,000			1,109,000	690,000	419,000		909,900	198,960	
									1,108,860		

(注)2回目の配分、追加配分枠が未定の段階においては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

(1) ①産地戦略枠分の活用分

配分枠

690,000円

前年度との比較 ※1	整理番号	用途 ※2	取組番号 ※3	分類 ※4	作期 ※5	単価① (円/10a) ※6	面積 (a単位)												合計 ② ※8	所要額 ①×② (円)						
							戦略作物				そば	なたね	野菜	花き・花木	果樹	雑穀	地力増進	養鰯形成			備蓄米	その他				
							麦	大豆	飼料作物	米穀用米													飼料用米	WCS用稲	加工用米	
																										大豆
同	1	白ねぎ作付助成	1	ア	1	14,400								100								100	144,000			
同	2	地域特産物作付助成	2~4	ア	1	11,500								148						20			498	765,900		
						実面積								248					20				766	909,900		
						実面積																				

※1 「前年度との比較」は、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。

※2 「二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」, 耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作を対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※3 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください。

※4 「分類」については、実施要綱別紙15の2(6)のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。

※5 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※6 2回目を受けた場合に初めて単価を設定する用途については、当初段階のビジョンの「単価」は、0と記入してください。

※7 「合計(基幹)」は、実面積を記入し、「合計(二毛作)」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

※8 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※9 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注) 用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

(1) ①-②従来枠の活用分

配分枠

419,000円

前年度との比較 ※1	整理番号	使途 ※2	取組番号 ※3	作期 ※4	単価④ (円/10a) ※5	面積 (a単位)											所要額 ④×⑤ (円)							
						戦略作物						大豆	そば	なたね	野菜	花木・花き		果樹	雑穀	地力増進	黒胡形産	備蓄米	その他	合計 ⑤ ※7
						麦	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米													
同	3	その他作物付助成		1	7,600								133	3	10						146	110,960		
同	4	地力増進・養肥作物付助成		1	5,000											138	38				176	88,000		
						合計(基幹)※6							133	3	10		138	38			322	198,960		
						合計(二毛作)※6																		

- ※1 「前年度との比較」は、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。
- ※2 「二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。
- ※3 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください(該当しない場合は不要です)。
- ※4 「作期等」は、基幹作物を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作物を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
- ※5 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作物を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。
- ※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計面額を記入してください。
- ※7 所要額欄の二重枠には、所要額の合計面額を記入してください。
- ※8 所要額欄の二重枠には、所要額の合計面額を記入してください。

(注)使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

(2) 追加分配枠の活用分

配分枠

円

前年度との比較 ※1	取組の整理番号 ※2	使途 ※3	取組番号 ※4	作期等 ※5	単価(円/10a) ※6	面積 (a単位) ※6										合計 ⑧ ※8	所要額 ⑦×⑧ (円)								
						戦略作物					大豆	そば	なたね	野菜	果樹 花き・花木			雑穀	地力増進 農薬形成	備蓄米	その他				
						麦	大豆	飼料用米	飼料用米	加工用米															
同	5	備蓄米作付助成		1	7,500																				
同	6	そば作付助成		1	20,000																				
		合計(基幹) ※7																							
		合計(二毛作) ※7																							

※1 「前年度との比較」は、新規の場合は「新」、前年度から継続で一部変更した場合は「変」、前年度と同じ設定の場合は「同」を記入してください。
 ※2 「取組の種類」には、いずれの取組等に属する追加分配枠を充てるのか、以下のア～オのいずれかを記入してください。
 「ア」多収品種の導入への取組 「イ」加工用米の複数年契約の取組 「ウ」備蓄米の取組 「エ」そば、なたね(基幹作)の作付け
 「オ」主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回る事となる都道府県に対して、当該生産数量目標の面積換算値より下回った面積に応じた分配
 ※3 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
 ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。
 なお、耕畜連携で二毛作を対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
 ※4 「取組番号」は、水田フル活用ビジョン4の表の取組に該当する取組番号を記入してください(該当しない場合は不要です)。
 ※5 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
 ※6 「面積」は、追加分配が未定の段階にあつては、空欄としてください。
 ※7 「合計(基幹)」は、基幹作を対象とした設定の裏面積を記入してください。
 ※8 ⑧の合計は、各使途の合計面積を記入してください。
 ※9 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
 (注)使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(領票)」を添付してください。

(3) 水田における交付対象面積計 (a単位)

面積積 ※2	面積積 ※2	戦略作物							合計							
		麦	大豆	飼料用米	飼料用米	加工用米	そば	なたね		野菜	果樹 花き・花木	雑穀	地力増進 農薬形成	備蓄米	その他	
381												138	38		498	1,088
合計(二毛作) ※1																

※1 「合計(基幹)」は、基幹作を対象とした設定の裏面積を記入し、「合計(二毛作)」は、二毛作を対象とした設定の裏面積を記入してください。
 ※2 2回目の配分及び追加分配枠が未定の段階にあつては、1回目配分での設定の裏面積を記入してください。

4. 2回目の配分を受けた場合の調整方法

個票の参考となる単価を上限に一律に充当する。

5. 主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回った面積に相当する追加配分を受けた場合の調整方法

2回目の配分を受け調整しても単価が上限に達しない場合、同様の使途を設定して一律に充当する。

6. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

(1) 産地戦略枠、従来枠、追加配分枠それぞれについて、活用予定額に収まるよう、次の単価調整係数を乗じて交付単価を一律減額する。
単価調整係数 = $\frac{\text{活用予定額}}{\text{使途ごとの対象面積} \times \text{交付単価}}$ の合計単価調整係数は小数点第4位以下切り捨てとする。

(2) 従来枠に残額が発生し、また、産地戦略枠、追加配分枠が活用予定額を超過する場合は、残額を産地戦略枠、追加配分枠の順に充当し、枠ごとに(1)に準じて一律減額する。

(3) 追加配分枠に残額が発生し、また、産地戦略枠、従来枠が活用予定額を超過する場合は、残額を産地戦略枠、従来枠の順に充当し、枠ごとに(1)に準じて一律減額する。

(4) 産地戦略枠に残額が発生し、また、従来枠、追加配分枠が活用予定額を超過する場合は、産地戦略枠活用額が配分額を上回っている場合に限り、残額を従来枠、追加配分額の順に充当し、枠ごとに(1)に準じて一律減額する。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H28
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	若桜町農業再生協議会	整理番号	1
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	白ねぎ作付助成		
対象作物	白ねぎ(基幹作)		
単価	14,400 円/10a (上限: 18,000 円/10a)	参考となる単価※3	18,000 円/10a
内容	JAが展開する白ねぎ倍増プランにより、地域推進作物として推奨する白ねぎを作付けする販売農家に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付けし、販売する農家 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 白ねぎ(基幹作) <input type="checkbox"/> その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・販売すること ・1圃場につき1回までの助成とする 		
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 販売実績、現地確認等による		
備考			

※1「活用枠」欄は該当する項目の口にて✓(チェック)を付けてください。

※2「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2(6)のア、イ、ウのいずれに該当するか口にて✓(チェック)を付けてください。

※3「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H28
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	若桜町農業再生協議会		整理番号	2	
活用枠※1	<input checked="" type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
用途	地域特産作物作付助成				
対象作物	ブロッコリー、アスパラガス、ほうれんそう、夏だいこん、小豆、エゴマ(基幹作)				
単価	11,500 円/10a (上限: 14,400 円/10a)		参考となる単価※3	14,400 円/10a	
内容	若桜町の気象条件に適する、ブロッコリー、アスパラガス、ほうれんそう、夏だいこん、小豆、エゴマを地域特産作物として、作付けする販売農家に作付面積に応じて助成する。				
具体的要件	<input type="checkbox"/> 助成対象者 対象作物を作付けし、販売する農家 <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 ブロッコリー、アスパラガス、ほうれんそう、夏だいこん、小豆、エゴマ(基幹作) <input type="checkbox"/> その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売すること ・ 1圃場につき1回までの助成とする 				
確認方法	<input type="checkbox"/> 助成対象者 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象水田 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> 助成対象作物 共通事項のとおり <input type="checkbox"/> その他要件 販売実績、現地確認等による				
備考					

※1「活用枠」欄は該当する項目の□に ✓ (チェック) を付けてください。

※2「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2(6)のA、イ、ウのいずれに該当するか□に ✓ (チェック) を付けてください。

※3「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H28
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	若桜町農業再生協議会		整理番号	3	
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ	
用途	その他作物作付助成				
対象作物	その他作物(その他作物リストに記載された一般作物)(基幹作)				
単価	7,600 円/10a (上限: 9,600 円/10a)		参考となる単価※3	9,600 円/10a	
内容	その他作物を作付けし、道の駅等で直接販売する農家へ、作付面積に応じて助成する。				
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 対象作物を作付し、販売する農家 ○ 助成対象水田 共通事項のとおり ○ 助成対象作物 その他作物リストに記載された一般作物(基幹作) ○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売すること ・ 永年性作物については、新植より4年 ・ 1圃場につき1回までの助成とする 				
確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 共通事項のとおり ○ 助成対象水田 共通事項のとおり ○ 助成対象作物 共通事項のとおり ○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売実績、現地確認等による ・ 水田台帳 ・ 永年性作物は作業日誌による 				
備考					

※1「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2(6)のA、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H28
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	若桜町農業再生協議会	整理番号	4
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠 <input type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	地力増進・景観作物作付助成		
対象作物	地力増進作物、景観形成作物(基幹作)		
単価	5,000 円/10a (上限: 6,400 円/10a)	参考となる単価※3	6,400 円/10a
内容	地力増進作物、景観形成作物を作付けする農家に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 対象作物を作付けする農家 ○ 助成対象水田 共通事項のとおり ○ 助成対象作物 地力増進作物、景観形成作物(基幹作) ○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地力増進作物については、鋤きこむこと ・ 景観形成作物については、適切な栽培管理を行うこと ・ 1圃場につき1回までの助成とする 		
確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 共通事項のとおり ○ 助成対象水田 共通事項のとおり ○ 助成対象作物 共通事項のとおり ○ その他要件 作業日誌、現地確認等による 		
備考			

※1「活用枠」欄は該当する項目の□に ✓ (チェック) を付けてください。

※2「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2(6)のア、イ、ウのいずれに該当するか□に ✓ (チェック) を付けてください。

※3「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	若桜町農業再生協議会	整理番号	5
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input checked="" type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	備蓄米作付助成		
対象作物	備蓄米(基幹作)		
単価	7,500 円/10a (上限: 7,500 円/10a)	参考となる単価※3	7,500 円/10a
内容	備蓄米を作付けし、買入対象米穀として政府に売り渡した農家に、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 対象作物を作付けする農家 ○ 助成対象水田 共通事項のとおり ○ 助成対象作物 備蓄米(基幹作) ○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄米として出荷・販売すること ・ 1圃場につき1回までの助成とする 		
確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 共通事項のとおり ○ 助成対象水田 共通事項のとおり ○ 助成対象作物 共通事項のとおり ○ その他要件 個人別出荷台帳で確認する 		
備考			

※1「活用枠」欄は該当する項目の□に✓(チェック)を付けてください。

※2「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2(6)のア、イ、ウのいずれに該当するか□に✓(チェック)を付けてください。

※3「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続	○	助成開始年度	H27
----	--	-------------	--	-------	---	--------	-----

産地交付金の活用方法の明細(個票)

協議会名	若桜町農業再生協議会	整理番号	6
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠 <input checked="" type="checkbox"/> 追加配分枠	分類※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
用途	そば作付助成		
対象作物	そば(基幹作)		
単価	20,000 円/10a (上限: 20,000 円/10a)	参考となる単価※3	20,000 円/10a
内容	地域活性化を図るための作物として、そばを作付けする販売農家に対し、作付面積に応じて助成する。		
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 対象作物を作付けする農家 ○ 助成対象水田 共通事項のとおり ○ 助成対象作物 そば(基幹作) ○ その他要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売すること ・ 1圃場につき1回までの助成とする 		
確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助成対象者 共通事項のとおり ○ 助成対象水田 共通事項のとおり ○ 助成対象作物 共通事項のとおり ○ その他要件 販売実績、現地確認等による 		
備考			

※1「活用枠」欄は該当する項目の口に ✓ (チェック) を付けてください。

※2「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙15の2(6)のア、イ、ウのいずれに該当するか口に ✓ (チェック) を付けてください。

※3「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。

平成29年度 産地交付金について
 〈平成29年度 交付対象作物及び交付単価一覧〉

若桜町農業再生協議会

項目	単価 千円/10a	作物	品 種
地域推進作物	14.4	野菜	白ねぎ
地域特産作物	20	雑穀類	そば
	11.5	野菜	ブロッコリー ほうれんそう
		雑穀類	小豆
一般作物	7.6	野菜	きゅうり
			さやいんげん
			トマト
			未成熟とうもろこし
			なす
			ばれいしょ
			ピーマン
			かんしょ
			かぼちゃ
			枝豆
			いちご
			とうがらし
			にんにく
			やまのいも
			メロン
			中国野菜(チンゲンサイ等)
			キャベツ
		みょうが	
		はくさい	
		わさび	
		ねぎ	
自然薯			
たまねぎ			
ギボウシ			
レタス			
スイカ			
だいこん			
パプリカ			
にんじん			
くわい			
さといも			
こんにゃく			
れんこん			
その他野菜			
しょうが			
きのこ類			
きのこ類(しいたけ、ひらたけ等)			
豆類			
大豆			
その他豆類(ナタ豆等)			
そら豆			
雑穀類			
ハトムギ			
その他雑穀			
果樹	りんご		
	くり		
	日本なし		
	いちじく		
	もも		
	キウイフルーツ		
	うめ		
ゆず			
びわ			
ぎんなん			
かき			
その他果樹			
山椒			
花き	りんどう		
	てっぼうユリ		
	トルコキキョウ		
きく			
ストック			
その他花き			
花木	切花用母樹		
	その他花木		
花木(枝物用)			
苗類			
種苗類(すいか苗、ストック苗等)			
花壇苗(ビオラ苗、パンジー苗等)			
山菜	たらの芽		
	その他山菜		
うど			
その他	みつまた		
	薬用作物(朝鮮人参等)		
	マコモタケ		
	油糧作物(ヒマワリ等)		
はま茶			
その他工芸作物(とろろあおい等)			
香料作物(ミント、レモングラス等)			
収穫しない作物	5	地力増進作物	地力・青刈りとうもろこし
			地力・れんげ
			地力・イタリアンライグラス
		その他地力増進作物	
地力・ソルガム			
—			
景観形成作物			
景観形成作物(レンゲ、ヒマワリ等)			
—			

※ 交付単価は、減額となる場合があります。
 ※ 一般作物には、他の項目の対象作物は含まれません。